

国民の審判で「社会保障・税一体改革」をやめさせ、社会保障拡充への転換を！

ほっかいどうの社会保障

2013年4月5日 北海道社会保障推進協議会 Tel:011-758-2648 FAX:758-4666

物価上って 賃金・年金ダウン 家計は悲鳴！

消費税増税中止、社会保障拡充求め各地で行動 **新婦人は全道100ヶ所アクション**

4月1日から7日にかけて、道内各地で、「消費税増税やめろ！」「社会保障を改善しろ！」などを掲げて宣伝署名行動を行っています。新婦人の会の「全道100ヶ所いっせいアクション」などの取り組みの一部を紹介します。

札幌 「低収入でダブルワークの青年 体を壊しても保険証がなく病院にいけない」



札幌でも各地で取り組みが行われています。4月1日は、札幌パルコ前で行動が行われ、各層の代表がハンドマイクで訴えました。民青同盟の代表は「青年の多くが非正規職員で、賃金が安くダブルワークでなんとか生活しています。中には体を壊す人もいますが、保険証がなく病院に行けない若者もいます」と、生活できる労働の保障、暮らしを壊す消費税増税は中止、社会保障の改善を求めました。若者も立ち止まり署名していました。

4月3日は、東区で新婦人の会が、区内の3つのスーパーを回り、店舗前で行動しました。署名やシール投票での対話では「これ以上生活が苦しくなったら、どこを削ればいいのか」「ホントに年金が減るのに消費税が上がって、年寄りをいじめて」など、切実な声も寄せられました。

北見 「年金下がるばかりなのに増税とんでもない」「給料上がらないのに増税困る」

スーパー前で行動 お年寄りや若い家族づれなど次々署名し1時間で210筆

3月31日（日）、北見では、消費税廃止各界連が、コープさっぽろ三輪店前で、はじめて街頭宣伝行動を行い、17人が参加しました。日曜日でお店が混んだこともあり、約1時間の行動で210人分の署名が集まりました。お年寄りや若い家族づれなど次々に署名をしてくれ、「年金は下がるばかりなのに増税なんてとんでもない」「子育てにお金がかかって不安。給料があがらないのに増税は困る」など怒りの声が寄せられました。



旭川 「税金で生活しているので」と署名拒む生保利用者「権利ですよ」の言葉に涙ぐむ 新婦人のシール投票「消費税増税」98%が反対（95人）



旭川では1日から5日まで、2条買物公園で、連日行動しています。2日は、新婦人の会からも参加し、22名が参加して行われました。独自に作った「消費税増税10%」についてのシール投票では、反対が95票（98%）で、賛成はわずか2票でした。署名での対話では、高齢の女性が「私は生活保護を受けています。税金で生活しているので、私は署名できない」と話したそうです。生活保護費は権利で、何も遠慮することはないことなどを伝えると、泣きながら、署名してくれたそうです。生活保護バッシングの影響もあり、萎縮して生活している生活保護利用者が少なくありません。捕捉率も2割程度です。早急にバッシング報道などはやめさせ、生活保護の実態も知らせ改善させることが求められます。

4月15日(月)は、いっせい宣伝行動日です。

2カ月に一度の年金支給日です。生活保護基準は今年8月から、年金などは12月（10月分）から引き下げ、来年4月から、消費税増税、70～74歳の医療費や後期高齢者医療保険料の値上げなどが計画されています。

求められているのは、庶民増税ではなく、社会保障の拡充です。

札幌での中心街宣伝は 12時15分～45分 南1西3丁目（マツキヨ・日産ギャラリー付近）

